

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成22年3月4日(2010.3.4)

【公表番号】特表2009-524904(P2009-524904A)

【公表日】平成21年7月2日(2009.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2009-026

【出願番号】特願2008-551919(P2008-551919)

【国際特許分類】

F 2 1 S 10/06 (2006.01)

F 2 1 V 23/00 (2006.01)

F 2 1 Y 101/02 (2006.01)

【F I】

F 2 1 S 10/06 1 1 0

F 2 1 V 23/00 1 1 3

F 2 1 Y 101:02

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月13日(2010.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光源によって放出された光の色相及び彩度を制御するための制御デバイスであって、前記光源で利用できる色相、及び彩度の複数の組み合わせの可視表示を含む表面を有する本体と、

前記表面上での色相及び彩度の組み合わせの選択に応じて、選択された色相及び彩度を備える少なくとも一つの選択信号を生成する手段と、

前記選択された色相及び彩度の組み合わせに従って前記光の色相と彩度を制御するために、前記選択信号を前記光源に伝達する手段と、を備える、

ことを特徴とする制御デバイス。

【請求項2】

前記制御デバイスは、さらに前記光の輝度制御を行うことができ、

前記デバイスは、前記本体又は表面の操作を感知するための手段をさらに含み、

この手段は、前記本体の感知された操作に応じて輝度選択信号を生成する、

請求項1に記載のデバイス。

【請求項3】

前記本体は、ハウジングに回転可能に受け入れられている実質的な球体であり、

前記デバイスは、前記選択された色相及び彩度を決定するセンサをさらに含む、

請求項1に記載のデバイス。

【請求項4】

各々の彩度は、実質的に、前記球体上の互いに反対の位置に重複して表示されている、請求項3に記載の制御デバイス。

【請求項5】

前記球体は、前記本体の周に沿って規定された色相選択曲線と、

前記本体の前記色相選択曲線と略直角なさらなる周の一部に沿って規定された彩度選択曲線と、を有する、

請求項 3 に記載の制御デバイス。

【請求項 6】

前記センサは、前記ハウジング内に収容され、

前記デバイスは、前記ハウジング内の前記球体の一部を照らすための光源を備える、

請求項 3 に記載の制御デバイス。

【請求項 7】

前記制御デバイスは、さらに前記光の輝度を制御でき、

前記ハウジングは、前記球体の並進を決定し、且つ前記光源の輝度を制御するために前記感知された並進に応じて輝度選択信号を生成するセンサを備える、

請求項 3 に記載の制御デバイス。

【請求項 8】

前記可視表示は、円として表示されている、

請求項 1 に記載の制御デバイス。

【請求項 9】

前記可視表示は、三角形として表示されている、

請求項 1 に記載の制御デバイス。

【請求項 10】

前記制御デバイスは、さらに前記光の輝度を制御でき、

前記表面は、変形可能な表面を備え、

前記デバイスは、前記表面の変形を決定でき、且つ前記光の輝度を制御するために前記感知された変形に応じて輝度選択信号を生成できるセンサを含む、

請求項 1 に記載の制御デバイス。